

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

国内初!※“毛フグ”と呼ばれる「パオ・バイレイ」の繁殖に成功! 謎の多いフグたちの種の保存に取り組んでいます



ふ化後45日目の「パオ・バイレイ」の稚魚(全長約3cm、2022年5月19日撮影)

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、2022年5月20日(金)より、「わざにふれる」ゾーンにて、国内初繁殖※となる「パオ・バイレイ」の稚魚(全長約3cm、10匹)を展示いたします。ニフレルで**国内初繁殖に成功したフグは5種類目**です。

「パオ・バイレイ」は淡水にすむフグの仲間で、タイやラオスなどメコン川の主流および支流に分布しています。体に「皮弁」という毛のように見える軟らかい突起物があることから「毛フグ」とも呼ばれています。ふ化直後は皮弁が生えていませんが、生後1ヶ月半経過し、皮弁が少し生えはじめてきました。これから成長とともに皮弁が発達し、成長すると全長12cm程度になります。自然界での詳しい生態は分かっていませんが、生息地の1つであるタイでは**レッドデータブック**に掲載されています。



パオ・バイレイの成魚(全長約12cm)

- 《展示開始日》 2022年5月20日(金)より
《展示場所》 館内1階「わざにふれる」ゾーン
《展示数》 10匹(予定)
《ふ化日》 2022年4月4日
《お問い合わせ》 ニフレルインフォメーション TEL:0570-022060(ナビダイヤル)
※生きものの状態により予告なく展示を中止または終了する場合があります。

※水族館や博物館など生きものを展示する施設として

【本件に関する報道関係のお問い合わせ先】
お問合せ: NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前
TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp

ニフレルでは、生きものの繁殖に積極的に取り組んでおり、魚類については特にフグの繁殖に力を入れています。これまで4種類について国内初繁殖（うち2種は世界初）に成功しており、日本動物園水族館協会の2020年度の「**初繁殖認定**」を受けました。今回の「パオ・バイレイ」で5種類目となりますが、いずれの種類も自然界における**生態の知見がほとんどなく**、飼育展示している園館も少ないため、詳しい生態が分かっていません。また、東南アジアのメコン川やアフリカのコンゴ川流域といった大河川の流域に生息しており、これらは**気候変動や開発による水量・水位の変動**の影響を受けやすいことから、繁殖生態に関する基礎的研究は、種の保存の上で非常に重要です。

ニフレルでは、今後も謎の多い生きものたちの**生態解明や生物多様性の保全**に貢献していきたいと考えています。

①【世界初繁殖】マミズフグ

《生態》インドやスリランカ、バングラデシュ、ミャンマー、ボルネオに分布。

主に海に生息するが、河川域や汽水域にも進入する。

《繁殖日》2019年5月14日

《繁殖方法》産卵誘発ホルモンによる人工繁殖



マミズフグ(稚魚)

②【世界初繁殖】テトラオドン・ショウテデニ

《生態》アフリカのコンゴ川流域に生息し、全長約10cmと比較的小型の

淡水のフグ。2016年5月20日に、オスがメスの腹部に噛み付き

産卵を促す繁殖行動が見られ、その後産卵が確認された。

《繁殖日》2016年5月20日

《繁殖方法》飼育下における自然繁殖



テトラオドン・ショウテデニ(成魚)

③パオ・スバツィ

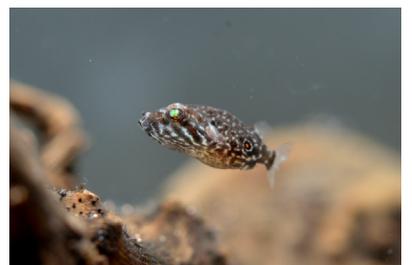
《生態》メコン川流域に生息する河川域で暮らすフグ。

背中にハートマーク型の模様があるのが特徴で、砂に潜って隠れて眼をキョロキョロ動かし、周りの様子を伺う。

メスが流木に産みつけた卵に、オスが胸ビレを使って新鮮な水を送ったり、卵にゴミなどが付着しないようにして守る様子が観察された。

《繁殖日》2016年5月19日

《繁殖方法》飼育下における自然繁殖



パオ・スバツィ(稚魚)

④パオ・アベイ

《生態》メコン川流域に生息する淡水のフグ。成長しても全長10cm程度と

比較的小型で、体に丸いオレンジ色の斑点が多数あるのが特徴。

《繁殖日》2017年10月3日

《繁殖方法》飼育下における自然繁殖



パオ・アベイ(稚魚)

《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL（ニフレル）（館長：小畑 洋）
運 営 会 社	株式会社海遊館（本社：大阪市港区、社長：三輪 年）
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	平日 10：00～18：00 土日祝 9：30～19：00 （最終入館は閉館の1時間前まで）
休 館 日	年中無休。※年に1回設備点検のための臨時休館日あり
施 設 内 容	8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、およぎにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、ひびきにふれる（生きもの約150種・約2000点）】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」（200㎡・112席）、ミュージアムショップ（NIFREL×NIFREL）
入 館 料 金	大人（16歳以上）・高校生 2,000円、小・中学生 1,000円、幼児（3歳以上）600円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩2分
駐 車 場	約4,100台（EXPOCITY全体用駐車場）
構 造 規 模	S造（一部SRC造、RC造）3階建
建 築 面 積	約3,500㎡（約1,060坪）
延 床 面 積	約7,200㎡（約2,180坪）

※ 公式ホームページ	https://www.nifrel.jp
※ ツイッター	https://twitter.com/nifrel_official
※ Facebook	https://www.facebook.com/nifrel.jp
※ インスタグラム	https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL